

補正予算の主な内容

総務費	
紫尾温泉周辺環境整備事業	1,340千円
ふるさとづくり促進事業	11,550千円
電柱交換等負担金 (地域イントラネット事業)	4,306千円
民生費	
私立保育所委託	10,975千円
農林業費	
公団造林管理委託	13,280千円
広域農道負担金	1,274千円
土木費	
道路台帳整備委託 (平江キャンプ場線、柚屋線)	2,415千円
教育費	
プール補修工事(紫尾小学校)	1,304千円

各特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計**
歳入歳出それぞれ8万円を追加し、総額は5億9770万1千円となります。歳出の主なものは、一般保険者保険税還付金などです。
- 中央地区簡易水道事業会計**
今回の主な補正は、水道事業収益で20万3千円、資本的支出で470万4千円などを追加し、資本的支出の総額は2億6550万7千円となるなど、内容は、建設改良費の導水管布設替・配水池フェンス工事などです。

Q プール補修の工法は

A 小学校費の工事請負費で紫尾小学校プール補修工事が計上されているが、どのような工法で工事をされるのか。

Q 有害駆除補助の詳しい説明を

A 林業振興費の負担金補助及び交付金の有害駆除事業補助の説明を。

Q 補助要綱の内容は

A 民生費の精神障害者福祉費の委託料で補助要綱を定めたということであるが、その内容は、

Q 公民館活性化事業減額理由は

A 自治公民館活性化事業で1校区分の減額されているが、どこに委譲されたか、また、活動の働きかけはどのよう

Q 公民館活性化事業減額理由は

A 自治公民館活性化事業で1校区分の減額されているが、どこに委譲されたか、また、活動の働きかけはどのよう

Q 留保事業が残っているか

A 公債費等が高まり非常に緊縮した財政状況であるが、現在の段階で留保事業があるのか。また、翌年度繰越金の見込みはどれくらいあるか。

Q 留保事業が残っているか

A 総務課長 本年度の留保事業はありませんが、繰越金はまだ算定していませんが、昨年1億4千万程度の繰越金であったが、本年度は昨年度よりも少ないものと予想している。

一般会計 定住促進対策費を追加

特別職・一般職 人件費を減額

一般会計補正予算(第5号及び第6号)は、歳入歳出それぞれ3690万7千円を追加し、総額は32億1690万2千円となりました。

歳入補正の主なものは、地方交付税818万5千円、繰越金1400万4千円、諸収入1360万2千円となっています。

歳出補正では、増額補正が総務費2574万6千円、民生費679万3千円、農林業費1527万5千円などに対し、減額補正が議会費204万3千円、衛生費299万2千円、教育費498万3千円、公債費131万3千円となっています。

主な補正内容は、総



昨年7月の交付式では39人の対象者が交付を受けた

務費の紫尾温泉周辺環境整備事業、定住促進対策としてのふるさとづくり促進事業費、民生費の私立保育所委託料、農林業費の広域農道負担金、公団造林管理委託費、教育費の紫尾小学校プール補修工事等となっています。

特に、今回の第6号補正は、人事院勧告に基づく国家公務員の給与の改正に伴って、町

報酬審議会の審議内容

Q 報酬審議会の審議内容は、また、メンバーはどのような方々で構成されているか。

A 総務課長 人事院勧告に基づく改定に準じての諮問を行った。その結果、厳しい財政状況の中での減額であるが、今後さらに努力し、行政に携わって頂きたいという答申を受けた。メンバーは森林組合、共済組合、教育関係、区長会、学識経験者、選挙管理委員

Q スローダウン連盟の説明を

A 企画開発課長 スローダウンとは効率、利便性を重視し、新しい物を追求するスピード社会と、物事を深く追及し保存再生に重点を置くスロー社会。この2つの社会が共存することを基本理念にしております。今後理念に基づ

長、助役、収入役、教育長及び議会議員の特別職の給料・報酬(改定率は減額の1.8%程度)並びに一般職員の給料改定(平均改定率は減額の2.0%)や、それぞれ期末手当の改正が行われたため、人件費が主なもので、その影響額は減額の約592万円程度となっています。(関連記事10P)